

# 施設一体型 角鹿中学校区 小中一貫校の 「メディアセン ター」について 考えよう！

平成30年8月22日(水) 18:00~20:00 敦賀市役所  
角鹿中学校区小中一貫校の設置に向け、第11回施設整備部会(教職員ワークショップ)が開催されました。今年度から実施設計に移り、先生を中心に、より具体的な議論に入りました。今回は、学校図書館とコンピュータ室が一体になった「メディアセンター」について議論しました。まず、設計者から、前回の振り返り、現在の計画案、類似施設についての説明があり、その後、小学校低学年、小学校中・高学年、中学校のグループに分かれて、議論を深めました。

- プログラム
- 1 前回の振り返り(5分)
  - 2 現在の計画案(10分)
  - 3 情報提供(10分)
  - 4 グループワーク(70分)
  - 5 発表(15分)
  - 6 まとめ・連絡(10分)



2 現在の計画案:説明と設計者からの問い掛け



3 情報提供:類似施設の事例紹介(笠井教授による)



4 グループワーク:「活動カード」について(西本部会長による)



4 グループワーク:メディアセンターについて考える



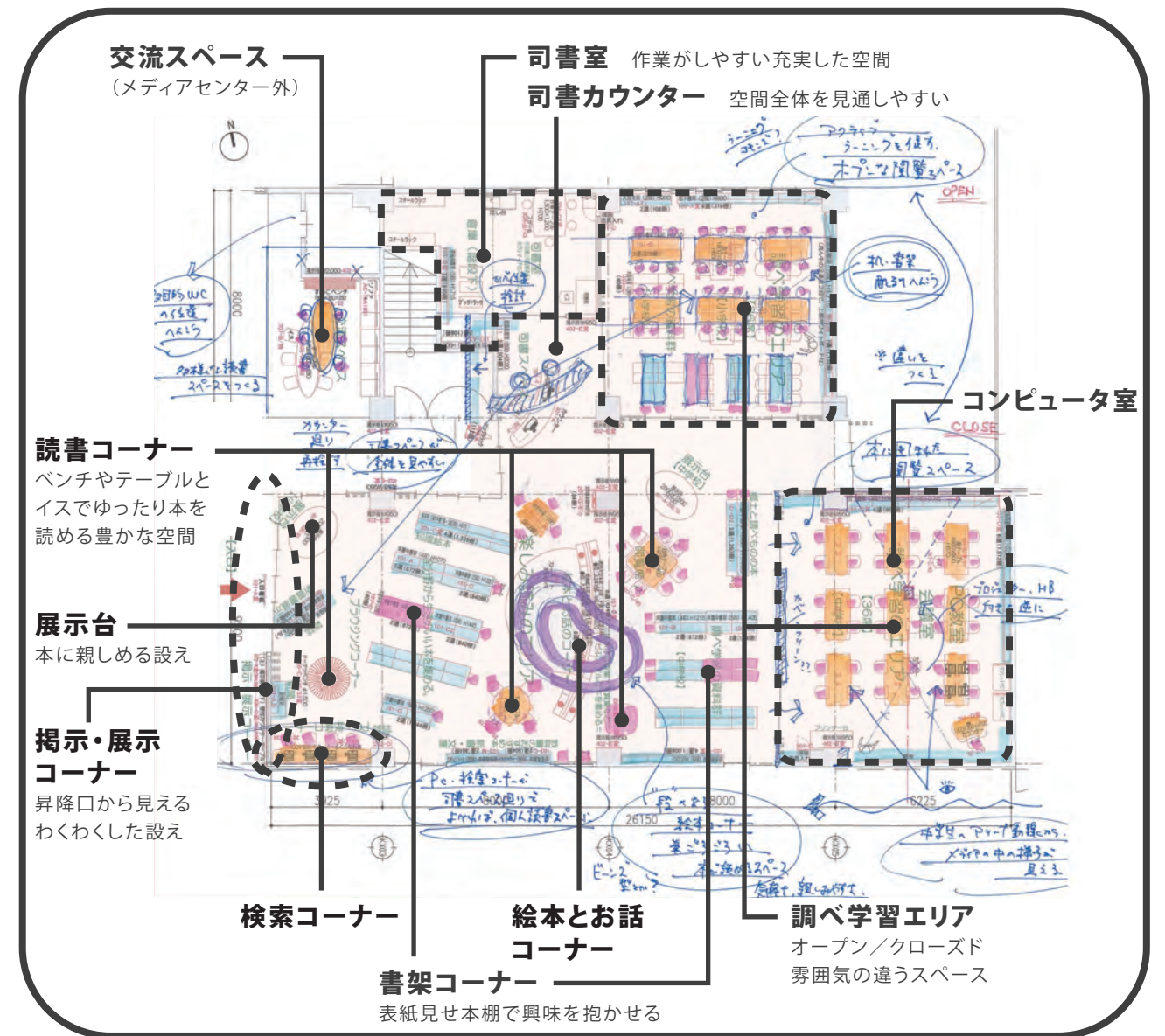
5 発表:各グループで話し合ったことを発表し、全員で共有

## 現在の計画案の特徴(メディアセンター) / 設計者が聞きたいこと

これまでのワークショップから見たこと 多様な「学び」と「つながり」を育む学校図書館づくり

- 気軽に使えること (いつでも、どこでも、だれでも)
- 様々な本の楽しみ方ができること (一人で、複数で、にぎやかに、落ち着いて)
- 出合いがあること (小学生と中学生、先生と児童生徒、おすすめ本を通して)
- 居心地がよいこと (寝転がったり、木の温かみ、温熱環境)

### メディアセンター(1階)の特徴



### 設計者が聞きたいこと

行いたい活動から考える検討すべきポイント

- ・活動にふさわしい床/壁/間仕切などの設えになっているか?
- ・活動にふさわしい書架、読書コーナーの割合になっているか?
- ・活動に必要な設備が備わっているか?

→ 固定のもの(書架、テーブル、イスなど)  
動くもの(ホワイトボード、プロジェクターなど)



久保 久志  
(東畑建築事務所)



「活動カード」を使って、メディアセンター（図書館とPC教室）の活動を確認しました

拡大図面を見ながら、メディアセンターについて考えました

グループワーク テーマ 1 「施設一体型小中一貫校の活動（メディアセンター）を確認しよう！」

グループワーク テーマ 2 「学習の拠点「メディアセンター」について考えよう！」

小学校低学年(A)／中・高学年(B、C)／中学校(D)の4つのグループに分かれて、ワーク1でソフト（引き続きやりたい活動／新しく始めたい活動／実現するための課題）を確認し、ワーク2でハードについて考えました。

凡例 いいね↑：期待 ちょっと↓：心配 どうなってる？：質問 こうすると！：提案

グループ	引き続きやりたい活動	新しく始めたい活動	実現するための課題	
小学校	朝読書	15分間朝読書を行っている。赤崎小は、人数が少ない場合、図書館で行う。小学生は短い本を1～2冊ほど読んでいる。	中学生も	・本を借りるタイミングが難しい。 →順番にメディアセンターを利用できるように、割り当てるといいかも。 →図書館というような堅苦しい感じではなく「本と触れ合える場所」という柔らかいイメージであってほしい。
	読み聞かせ	決められた曜日に、教室で、保護者や地域の方に、ボランティアで、読み聞かせをしてもらっている。	絵本とお話のコーナーで	→異学年交流の1つの方法となる。 →一角だけ雰囲気が変わっていると、楽しんで読み聞かせを行えるのではないかと。 →本との距離感を縮めることができるメディアセンターであってほしい。
	図書館ラリー			「本に触れるキッカケ」が大事なので、ゲーム制のイベントを設けてはどうか？
	調べ学習	理科などの授業中わからないことがあったら、本やパソコンで調べたい。	市立図書館とオンライン貸出	→授業の参考になる本がないと、市立図書館まで借りに行っている。 ・一つの場所で、パソコンと本で調べられるようにしたい。
	掲示づくり	地域		
	その他	小学生に勉強を教える	図書委員会コーナー	・階段状の場所など集中して話を聞けそう。 ・いままでの図書館のイメージではなく、もっとリラックスできる遊び心のある読書コーナーがほしい。
中学校	静かに本を読む	1時間本を読む		
	読書指導	図書館支援員が行っている。		中学校では、情報を探するために図書館で授業をする機会はあまり想定できない。図書館とPC教室を併用することはあまりない。
	全学年英語活動	文化祭などでおこなっているが、もう少し気軽に行いたい。		・今の学校には、全学年集まるスペースがない。
	板書と、映像を用いた授業	板書での授業	映像を映して、書き込む	・普通教室でメディアを用いるとなると器具を運ばなくてはいけない。そうすると映像はあまり使わなくなる。 ・英語も調べ学習エリアで、いつでも映像を映せるというのもよいのではないかと。
	タブレットで学習	映像を用いた授業	タブレットで写真を撮って	・タブレットは運びやすいが、扱いが雑になり壊しやすい。
その他		中学生と地域の繋がり	・地域のボランティアと図書委員の連携など、繋がりを増やしたい。	



交流スペース

・おしゃべりコーナーみたいで良い

司書室・司書カウンター

- ・広くて使いやすいそう
- ・様々な方向へ視線が通るのが良い
- ・常にいてほしいので、快適にしてほしい

掲示・展示コーナー

- ・おすすめ紹介の掲示のすぐ横にあると良い  
(掲示と展示の連携)
- ・展示コーナーは小中で分かれていると良い
- ・展示台が2つあるので、時期に合わせて色々な展示が出来そう
- ・児童生徒が掲示をする時に、まとめて見ることが出来て良い
- ・展示台を廊下から引込めるのが良い

絵本とお話コーナー

- ・カーペットの部分だけ上履きを脱ぐように指導する
- ・小学生専用の場があっても気にならない

読書コーナー

- ・目の届くところに読書コーナーがあるのが良い
- ・机が豊富で、図書委員やいろんな学年で、ビブリオバトルができそう
- ・多様な読書コーナーがあって楽しそう
- ・壁向きなど個人用の落ち着いた読書コーナーが欲しい
- ・表紙を見せる本の置き方

検索コーナー

- ・個別ブースだと自分で調べる癖がつきそう
- ・点在させて、個人ブース／司書に聞く／みんなで調べるなど多様な調べ方ができると良い

調べ学習エリア

- ・PC教室が近くて、ポップやポスターをつくれて便利
- ・PCと本が同じエリアだと調べ学習が充実しそう
- ・1クラス分の教室形式の部屋があるのが良い
- ・授業でも利用するために、可動の壁が良いかも
- ・簡単に開閉できる間仕切が良い
- ・模造紙が広げられる大きな机が良い
- ・机にキャスターが付いていると嬉しい  
(椅子のキャスターは落ち着かないので要らない)
- ・来たらすぐネット利用できるのが良い
- ・ノートパソコンだと、机に収納がしやすく融通が利きそう
- ・パソコンを棚に収納すると、準備に時間がかかる

植栽

- ・お世話をすると愛着が生まれそう
- ・地域の人喜びそう

全体

- ・子どもたちの安らぎの場所になりそう
- ・低学年は狭いところが好きなので、遊び心があるような椅子だと良い
- ・授業中でも利用できるようにしたい
- ・手洗いは無しが良い
- ・発表までの勉強場所・準備場所として使用したい  
(発表はラーニングスペースで行うので)
- ・音のしない、柔らかいフローリングが良い
- ・全体的にメディアセンターを使用できるように、仕切りを設けた方が良い
- ・家具の高さは誰の高さに合わせる？
- ・中学生がさわがしくしないか心配
- ・購読するのも予算的に厳しいので、雑誌はいらないと思う
- ・量でごろんと出来れば、読みやすいと思う
- ・児童生徒が常に通る場所にあるのは良い
- ・メディアセンターの外からも見通しが利くと良い